

Adobe Premiere Pro 2.0 からの Macromedia Flash Video ファイルの書き出し

Macromedia® Flash™ Video を使用すると、ビデオを Macromedia Flash Player で再生可能な形式にして Web ページに掲載することが簡単にできます。Adobe Premiere Pro 2.0 からシーケンスを Flash Video (FLV) ファイルとして書き出すことができます。書き出した FLV ファイルは Macromedia Flash 8 または Flash MX 2004 に読み込み、Flash ドキュメントで使用できます。Adobe Premiere Pro から FLV ファイルを書き出すと、Flash への読み込みの際に再エンコードが不要になるので、ワークフローが合理化されます。

注意： Adobe Premiere Pro から FLV ファイルを書き出すには、QuickTime バージョン 6.1.1 以降がコンピュータにインストールされている必要があります。

FLV への書き出しには、On2 VP6 コーデックまたは Sorenson Spark コーデックの 2 種類のビデオコーデックのいずれかを使用できます。初期設定では、On2 VP6 コーデックが選択されていて、FLV コンテンツを Flash Player 8 で使用するためにエンコードするときに使用します。On2 VP6 コーデックは、Sorenson Spark コーデックと比較すると、同じデータレートでより高画質のビデオをエンコードします。

On2 VP6 codec は、より高画質のビデオをサポートするために、エンコードに多大な時間を必要とし、ビデオデータをデコードして再生するためのクライアントコンピュータのプロセッサにもより高い処理能力が必要になります。このため、ユーザが Flash ビデオコンテンツにアクセスするときに使用するコンピュータに共通の最低要件について検討する必要があります。旧式のコンピュータを使用するユーザが多いと予想される場合は、Sorenson Spark コーデックを使用して FLV ファイルをエンコードすることを推奨します。

Flash Video Encoder では、**キーフレーム**と呼ばれる完全なフレームを、ビデオ全体を通して指定の間隔で記録します。エンコーダでは、複数のフレームを比較し余分な情報を除去して、画面上のすべてのピクセルの完全な値を見積もることで、キーフレーム間に存在するフレーム同士が近似されます。初期設定では、キーフレームは 2 秒ごとに配置されます。例えば、エンコードしているビデオのフレームレートが 30 fps の場合、キーフレームは 60 フレームごとに挿入されます。キーフレームの間隔は、手動で指定することもできます。フッテージにシーンの切り替えが多数ある場合や、動きの激しいアニメーションがある場合は、キーフレームの間隔を小さくすると、全体的な画質が向上することがあります。一般には、キーフレームの間隔は大きいほど画質が向上します。これは、フレーム間で変化しない画像の領域を表すデータが無駄に使用されることがないためです。間隔を小さくするほど、完全なフレームがより多く保存され、ファイルサイズが大きくなります。

注意： Flash Video を書き出すと、一時ファイルが FLV ファイルの保存先フォルダに作成されます。一時ファイルは、最終的な FLV ファイルよりもかなり大きくなります。書き出す前に、ディスク容量が十分あることを確認してください。

Flash Video ファイルを書き出すには

- 1 シーケンスを選択し、ファイル／書き出し／Adobe Media Encoder を選択します。
- 2 「書き出し設定」の形式ポップアップメニューから「Macromedia Flash Video (FLV)」を選択します。
- 3 書き出すシーケンスの部分に応じて、範囲ポップアップメニューから「シーケンス全体」または「ワークエリア」を選択します。
- 4 プリセットポップアップメニューからプリセットの書き出しを選択します。プリセットは、コンテンツの公開に使用する Flash Player のバージョン、ビデオ形式、ビデオコンテンツをエンコードするデータレートに基づいています。
- 5 「ビデオを書き出し」チェックボックスおよび「オーディオを書き出し」チェックボックスをオンまたはオフにして、ビデオのエンコード、オーディオのエンコード、ビデオとオーディオの両方のエンコードのいずれを実行するかを選択できます。
- 6 (オプション) 「ビデオ」タブにソースビデオのピクセルの大きさが表示されます。書き出すビデオを異なるサイズのビデオにする場合は、「フレームの幅」と「フレームの高さ」の両方またはいずれか一方の値をスクラブします。
- 7 「OK」をクリックして書き出しを開始します。
- 8 保存ダイアログボックスで、FLV ファイルの名前と保存場所を指定し、「保存」をクリックします。

ビデオおよびオーディオのエンコードの詳細設定を指定するには

- 1 シーケンスを選択し、ファイル／書き出し／Adobe Media Encoder を選択します。
- 2 「書き出し設定」の形式ポップアップメニューから「Macromedia Flash Video (FLV)」を選択します。
- 3 「ビデオ」タブで「オプション」をクリックします。

注意：「Flash Video エンコード設定」ダイアログボックスのプレビューエリアにはなにも表示されず、このダイアログボックスでビデオをプレビューすることはできません。ビデオのプレビューは、Adobe Media Encoder のメインダイアログボックスで確認します。

- 4 「Flash Video エンコード設定」ダイアログボックスで、「詳細設定を表示」をクリックして、ビデオまたはオーディオのエンコードのオプションを変更します。

- 初期設定では、ビデオとオーディオの両方がエンコードされます。オーディオのみまたはビデオのみをエンコードする場合は、「ビデオのエンコード」または「オーディオのエンコード」をそれぞれオフにします。
- ビデオコーデックポップアップメニューから「On2 VP6」または「Sorenson Spark」コーデックのいずれかを選択します。

注意：On2 VP6 コーデックを使用する場合、「アルファチャンネルのエンコード」オプションが表示されますが、Premiere Pro から FLV にアルファチャンネルを書き出す機能はサポートされていないため、このオプションは機能しません。

- ビデオのフレームレートを選択します。元のシーケンスと同じフレームレートを使用するには、「ソースと同じ」を選択します。異なるフレームレートでエンコードするには、ポップアップメニューから値を選択するか、手動で値を入力します。フレームレートを低いデータレートを下げる場合は、1 秒あたりのフレーム数をソースフレームレートから均等に割り切れる数（元のレートの 2 分の 1 または 4 分の 1）にする必要があります。
- Flash Video Encoder でキーフレームを自動的に（2 秒ごとに 1 キーフレーム）配置するには、キーフレームの配置ポップアップメニューから「自動」を選択します。異なる間隔を指定するには、キーフレームの配置ポップアップメニューから「カスタム」を選択し、100 fps までの値を入力します。
- 画質ポップアップメニューから画質設定を選択します。画質設定により、エンコード対象のビデオのデータレートが決まります。データレートが高いほど、エンコード対象のビデオクリップの画質が向上します。「低」、「中」、または「高」を選択します。または、「カスタム」を選択して kbps 単位で値を入力します。
- 「オーディオのエンコード」エリアで、データレートを選択します。音楽など高品質のオーディオトラックの場合は、データレートを高くする必要があります。単なる会話の場合は、より高い割合で圧縮することができます。高ビットレート設定（80 kbps 以上でエンコード）はステレオでエンコードされますが、低ビットレート設定（64 kbps 以下でエンコード）はモノラルでエンコードされます。

注意：書き出すビデオのサイズを変更するときは、Flash Video エンコード設定のビデオのサイズ変更オプションではなく Adobe Media Encoder の基本パラメータを使用して変更することを推奨します。「Flash Video エンコード設定」ダイアログボックスで、「ビデオのサイズ変更」がオフになっていることを確認してから「OK」をクリックし、Adobe Media Encoder に戻ります。Adobe Media Encoder の書き出し設定ダイアログボックスの「ビデオ」タブで、「フレームの幅」と「フレームの高さ」の両方またはいずれか一方の値を変更して、書き出すビデオのサイズを指定します。

法律上の注意事項

©2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe および Adobe Premiere Pro は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Macromedia および Flash は Macromedia Inc. の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.